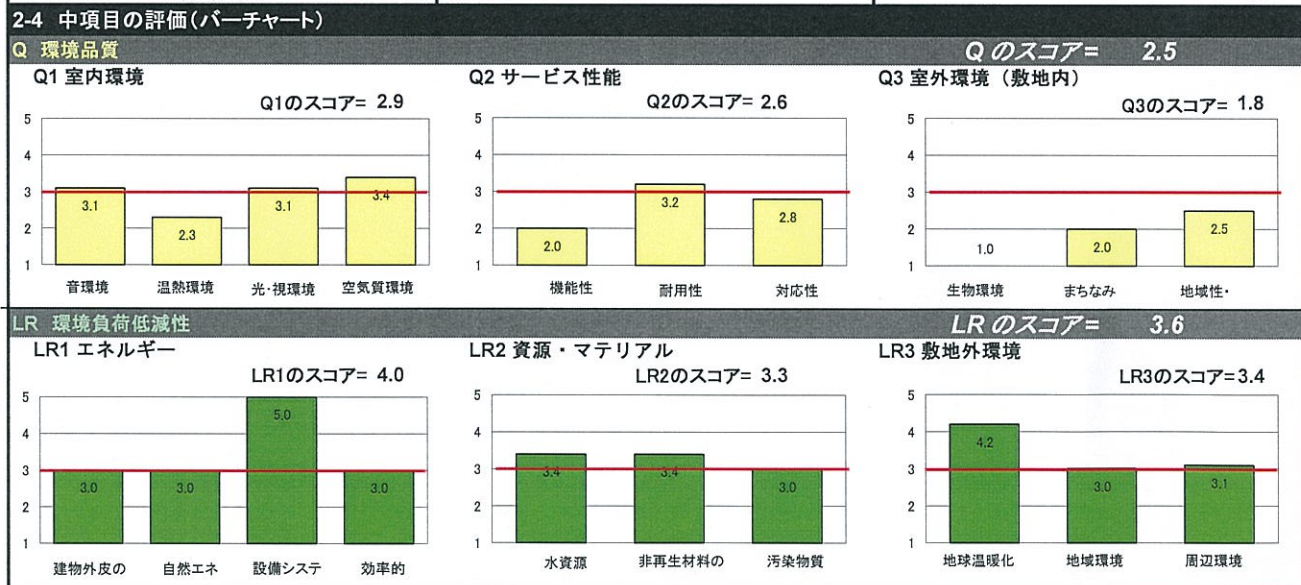
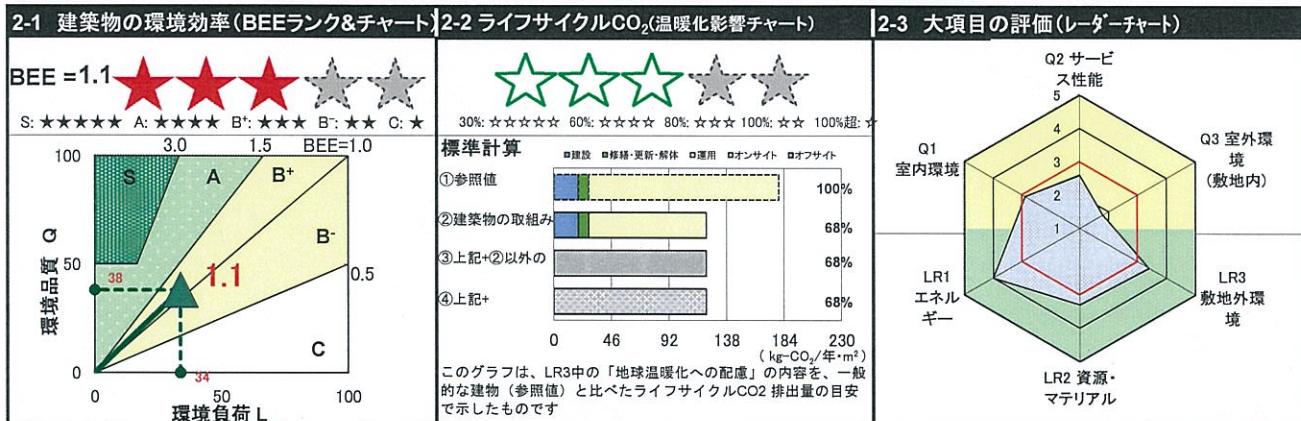


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アルファスマート米原Ⅲ 新築工事	階数	地上10F
建設地	鳥取県米子市米原四丁目395番	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	288 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2015年9月1日
敷地面積	3,155 m ²	作成者	藤沢敏典
建築面積	817 m ²	確認者	藤沢敏典
延床面積	6,326 m ²		



3 設計上の配慮事項		その他
総合 住戸数74戸の共同住宅として、快適な住環境を目指す計画としている。		特になし。
Q1 室内環境 ①住戸間の壁の遮音性を高くし、プライバシーに配慮している。 ②庇とカーテンを組み合わせることでグレアを対策できるようにしている。	Q2 サービス性能 ①外装及び内装に耐用年数の高いものを使用し、更新必要間隔を短くしている。 ②劣化しにくい配管材料を使用し、更新必要間隔を短くしている。	Q3 室外環境(敷地内) ①外構緑化指数を10.40%としている。 ②空地率=74.12%としている。 ③中高木、ピロティ等の水平投影面積率=27.56%としている。
LR1 エネルギー ①一次エネルギー消費量を基準値の89%としている。	LR2 資源・マテリアル ①水栓金物の節水コマに加えて、節水型便器を使用し、水資源の節約をしている。 ②グリーン調達品目にあるリサイクル材を使用している。 ③躯体と仕上げ材が分別しやすい工法を採用し、解体時にリサイクルしやすくしている。	LR3 敷地外環境 ①ライフサイクルCO ₂ 排出率=68%としている。 ②利用者のための適切な量の駐車台数と駐輪台数を確保し、渋滞対策のための車路を設けている。 ③光害対策のため、光害ガイドラインの一部を満たし、屋外照明は過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される